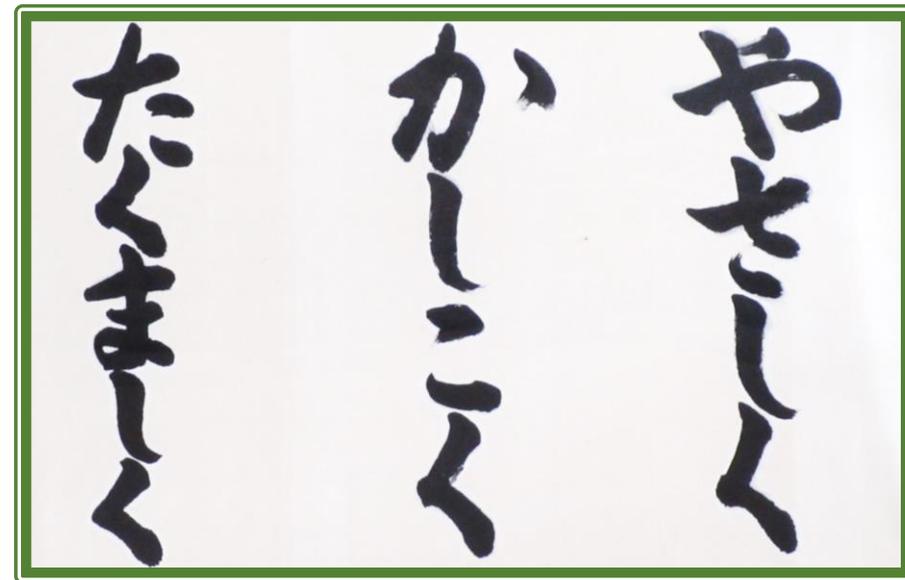


令和7年度 教育ビジョン説明会



新潟市立木山小学校

新潟市の教育の方向

新潟市教育振興基本計画 ～にいがた学びのコンパス～ (令和7年度～令和10年度)

＜新潟市が目指す人間像＞

しなやかに 世界と未来を創る人

＜新潟市教育ビジョンのコンセプト＞

- 生まれてから一生涯を見通した幅広い視点で新潟市民の生活が心身ともに豊かになる教育
- 誰一人取り残さない、一人一人の可能性を引き出す教育



木山小学校の特色

(児童・職員・家庭・地域 その他)

S 強み

- 仲がいい・フレンドリー・明るい
- 人間関係のよさ・優しい
- 素直・従順・のびのび
- 少人数のため全校児童が見え、1人1人に適切な支援ができる
- 職員のチームワーク・全校体制の動き
- ◇地域の特性を生かした学習（畑・砂丘・自然など）

W 弱み

- 主体性・自主性が少ない
- 多様な考えが出づらい・向上心が少ない
- 外に出ると弱い・大人数への順応が心配
- 人間関係固定化・規律や恥じらいや距離感に不安
- 職員主導の活動が多い・職員数減による負担増
- ◇行事等の活動内容の制限

O 機会

- ◇地域の皆様や団体が大変協力的・地域教育CO◎
- ◇地理的有利(農業/砂丘/大学/神社/自然)が多い
- ◇小規模校（単学級）ゆえの外部連携・機動力◎
- ◇保護者協力的・参加率100%近く

T 脅威

- 少人数ゆえの規律&ルールの緩み・活動の制限
- 職員数減による負担増・行事等の精選と協働分担の必要性
- ◇手が届きすぎて助けが多い(転ばぬ先の杖的)
- ◇校舎等老朽化による経費増・活動費高騰化&個人負担増(金)
- ◇マンパワー頼み・高齢化等によりなくなる危険性
- ◇通学利便性悪い・家庭の教育力の差

○:児童 □:職員 ◇:地域・保護者・他の要素

新潟市の平均と比較して、以下のような傾向が伺えます。

<新潟市の平均に比べて高い傾向にある項目>

- ・地域の大人と日常的にかかわり、あいさつや言葉を交わす機会が比較的多い傾向にある。
- ・友達のよいところを見つけることができる児童が多く、スマイル班活動での継続的な取組の成果が表れている。
- ・友達同士で話し合う活動は取り入れられている。
- ・外国語・外国語活動について児童の理解度、関心度が非常に高い。
- ・Ipadが日常的に十分活用されている。

<新潟市の平均に比べて低い傾向にある項目>

- ・運動に親しんだり、体を動かしたりする機会が少ない傾向にある。
- ・睡眠時間、メディアコントロールについて課題がある。
- ・読書が好きな児童が少ない。また、読書をする時間が十分確保できてきない。
- ・家庭学習の習慣が身につけていない児童が多い。
- ・地域の学習について関心をもって調べたり、考えたりする経験が不足している。
- ・話し合ったり、教え合ったりする機会はあるが、自分の考えを発表する場が十分確保されていない。

教育ビジョンについての検討会（職員）

＜改善策の提案＞

○生活指導

- ・言葉遣い、時間、あいさつなど、子どもたちに「身に付けさせたい力」を生活目標のような形で設定してはどうか。

○スマイル班活動

- ・活動をさらに充実させる。リーダーとなる6年生だけでなく、下学年にも活躍の機会を与える。
- ・学校行事や総合などで、スマイル班を生かした活動を工夫してはどうか。

○元気アップ週間

- ・ややマンネリ化している感ありか。何か工夫が必要では。

○地域学習

- ・分からないことは、自分たちで調べるといった能動的な姿勢を育みたい。
- ・自分たちで見つけた課題について学びたいことを選べるとよい。

○学習指導

- ・子どもたちに学ぶ意欲を持たせるような授業を行う。
- ・意識調査では「話し合い」の場は多く設定されているようだが、自分の考えを発表する場は十分確保されていないようである。



＜育てたい資質・能力＞ R6
主体性・社会性（自律）・自己決定力

令和7年度 木山小教育ビジョン

令和7年度 新潟市立木山小学校 教育ビジョン（案）
 ～未来をしなやかに生き抜く力を、保護者・地域の皆さんと共に～

教育目標	やさしく かしこく たくましく	目指す子どもの姿
育む資質・能力	かかわる力・自主・自律の力 自ら考え表現する力	⑤らきらえがお ⑤ゆるきいっぱい ⑤いにちげんきな 木山っ子

「心」プロジェクト

特別活動（スマイル班活動等） 生涯指導 道徳教育

1 重点項目（何をを目指すのか）
 多様なかわりや振り返りにより、自主的・自律的に行動する子を育成する。

2 具体的方策と手立て
 ・スマイル班活動を継続的にを行い、異学年とのかわり方を具体的に指導する。
 ・振り返り活動を意図的に設定し、子どもたちのよい姿を子ども同士・教職員・保護者・地域の方々等で伝え合う。
 ・生活目標を設定し、めあてに向かって自律的に生活する態度を養う。

「学び」プロジェクト

生活科・総合的な学習の時間 授業改善 ICT活用

1 重点項目（何をを目指すのか）
 自ら課題を見つけ、様々な方法で追究し表現する子を育成する。

2 具体的方策と手立て
 ・積極的に地域に出かけ、地域の魅力や特色について知りたくなる活動を展開する。
 ・学ぶ内容や方法を、自ら選択・判断・決定していく授業を展開する。
 ・自分の考えを伝え合ったり、大勢の前で発表したりする場を意図的に実施する。

支持的風土の醸成 共感的な人間関係、 「傾聴・受容」	特別支援教育の推進 学校支援体制の確立、 基礎的環境整備	基本的生活習慣の改善 学習習慣の定着、 健康教育 体力向上
児童・教職員、 ウェルビーイングの向上	教育のDX化、 (GIGAスクール メディアリテラシー)	カリキュラム・マネジメント、 (教科横断的な視点 一部教科担任制)
地域と学校パートナーシップ事業、 (学習支援・地域貢献・学びの拠点)	コミュニティ・スクールの推進、 (地域・保護者との連携)	12年間の中学校区連携、 (3回・赤塚小・赤塚中との連携)
地域とともにある学校		

＜基本的方針＞

- 「木山だからできる 木山でしかできない」
小規模校の課題を乗り越え、よさを生かす
- 育みたい資質・能力の整理・明確化
- 前年度の成果と課題を踏まえた目標設定
(継続する取組と新たな取組)
- 2つのプロジェクト（柱）により重点化
- プロジェクトを支える土台となる教育活動・
社会的背景・教育の動向・地域連携

令和7年度 木山小教育ビジョン

＜教育目標＞

やさしく かしこく たくましく

～未来をしなやかに生き抜く力を、保護者・地域の皆さんと共に～

＜目指す子どもの姿＞

① きらきらえがお (徳)

② やるきいっぱい (知)

③ いにちげんきな (体)

木山っ子



令和7年度 木山小教育ビジョン

育む資質・能力

かかわる力・自主・自律の力

自ら考え表現する力

心 こころプロジェクト

特別活動（スマイル班活動）
生活指導 道徳教育

学 まなびプロジェクト

生活科・総合的な学習の時間
授業改善 ICT利活用

心

かかわる力・自主・自律の力

<重点目標>

多様なかかわりや振り返りを通して、自主的・自律的に行動する子を育成する。

昨年度の取組をさらに一歩進める

心

かかわる力・自主・自律の力

2 具体的方策と手立て

- ・スマイル班活動を**継続的**に行い、**異学年とのかかわり方を具体的に指導**する。



心

かかわる力・自主・自律の力

2 具体的方策と手立て

- ・ **振り返り活動**を意図的に設定し、子どもたちのよい姿を子ども同士・教職員・保護者・地域の方々等で伝え合う。



心

かかわる力・自主・自律の力

2 具体的方策と手立て

- 生活目標を設定し、めあてに向かって自律的に生活する態度を養う。

4, 5月の生活のめあて

「正しい言葉づかいをしよう」

〇〇さん

～です ～ます

はい～ですか



じぶん
自分のめあて

ふりかえり 自分^{たっせい}のめあてが達成できましたか。できた…○ もうすこし…△

学

自ら考え表現する力

<重点目標>

自ら課題を見つけ、様々な方法で
追究し表現する子を育成する。

学

自ら考え表現する力

2 具体的方策と手立て

- ・積極的に地域に出かけ、地域の魅力や特色について知りたくなる活動を展開する。



学

自ら考え表現する力

2 具体的方策と手立て

- 学ぶ内容や方法を、自ら選択・判断・決定していく授業を展開する。



学

自ら考え表現する力

2 具体的方策と手立て

- 自分の考えを伝え合ったり、大勢の前で発表したりする場を意図的に実施する。



プロジェクト（2つの柱）を支える土台～教育活動～

支持的風土の醸成

共感的な人間関係

「傾聴・受容」

<いごちのよい学級づくり>

特別支援教育の推進

学校支援体制の確立

基礎的環境整備

<インクルーシブ教育>

基本的生活習慣の改善

学習習慣の定着

健康教育

(メディアコントロール)

体力向上

プロジェクト（2つの柱）を支える土台 ～社会の要請・教育の動向 地域連携～

社会の要請
教育の動向

<p>児童・教職員の ウェルビーイングの向上</p>	<p>教育のDX化 (GIGAスクール メディアリテラシー)</p>	<p>カリキュラム・マネジメント (教科横断的な視点、 一部教科担任制)</p>
--------------------------------	---	---

「ウェルビーイング」とは… 肉体的にも精神的にも充実し、社会的な面においても満たされている幸福な状態。持続的な幸せ。
Happinessは感情的で一瞬しか続かない、スパンの短い幸せ

地域連携

<p>地域と学校パートナーシップ事業 (学習支援・地域貢献・ 学びの拠点)</p>	<p>コミュニティ・スクールの推進 (地域・保護者との連携)</p>	<p>12年間の中学校区連携 (3園・赤塚小・赤塚中との連携)</p>
--	---	--

その他 児童数/学級数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	あおぞら	全校
児童数	9 (2)	6	7	6	8 (3)	18	5	54
学級数	1	1		1		1	1	5

木山小学校における【A/B年度方式】について（次年度の予定）

令和7年度

3・4年生が 4年「社会」、4年「音楽」、総合（B年度）、体育3・4年合同
3年「理科」、3年「図画工作」、3年「外国語活動」を一緒に学習

5・6年生が 6年「社会」、6年「理科Ⅰ」、総合（B年度）、体育5・6年合同
5年「音楽」、5年「図工」、5年「家庭科」を一緒に学習

1・2年生が 1年「音楽」、1年「図工」を一緒に学習、体育1・2年合同

※現時点での予定です。今後変更になる場合あり。

※2つの学年が同じ内容を同時に履修する教科あり。そのため、教科によっては、一つ上の学年の学習内容を先に履修する場合あり。

保護者・地域の皆様のご支援、ご協力を
よろしく申し上げます。



ご清聴いただきありがとうございました。